

■バス停にベンチを！



環七通りのバス停で上一色中学校前から乗車する高齢者の方から、ベンチのご要望を頂きました。区都市開発部を通じてバス会社に申し入れた結果、少し時間はかかりましたが、このほど遂に完成。たいへん喜ばれました。

■通学路の安全対策(大杉第2小学校)

学校長からご要望。『正門前の電柱を引っ張るワイヤーが通行の妨げになるので、移動して欲しい。』とのこと意見。早速、区土木部を通じて東京電力に申し入れたところ、学校との協議により電柱そのものが校舎側に移設。この結果、歩道が広くなり、ワイヤーもなくなったので、子どもたちは安心して通行できるようになりました。



学校長から「通学路の中央に立つ電柱の移設を」とのご要望を頂きました。現場では、消火栓との関係でガードパイプも歩道を狭くしていました。区土木部に申し入れたところ、東電の協力を得ると共にガードパイプも移設。学校長からは、これで安心して歩ける、と喜びました。

■通学路の安全対策(大杉小学校)

■五叉路の巻き込み防止対策



本一色3-37付近の五叉路では、変則な交差点のため、右折車が歩行者を巻き込む危険がありました。そこで土木部に要望の結果、ドライバーへの注意喚起の立て看板が設置され、地元の方から喜びのお声を頂きました。



車椅子の方から、環七通りと千葉街道の交差点の段差をなくして欲しい、とのこと要望。歩道と車道の間に約2cmの段差が車椅子の通行を困難にしていた。そのため、やむなく車道を通らざるを得ない危険でした。そこで上野都議を通じて東京都に要望。直ちに8力所の段差を解消するフラットロックやコンクリートタイルの道路ガイドが整備され、車椅子の方から、満面の笑みが溢れました。

■交差点をバリアフリーに(鹿中前交差点)

あの道、この道、安心の街へ！

■遊具の安全対策を強化(中央森林公園)



中央4丁目の区立中央森林公園で『ターザンの階段が壊れていて危険!』とお声を頂きました。早速、現地を確認。確かに『ターザンロープ』に登る木製階段の踏面の一部が外れ、階段を踏み外す危険がありました。老朽化が原因。そこで土木部に要請したところ、直ちに改修され、地域の皆さんの笑顔が戻りました。

■住宅街の安全対策



大杉1-7付近の住宅街を猛スピードで走る車が後を絶たず、住民の方から対策を求められました。遠目に見える信号機を無理に走ろうとすると考えられ、注意看板を設置。しかし、その後に接触事故が発生したため、更なる対策を土木部に要請。その結果、更に手前の路面に『減速』の標示が施されました。今後も、引き続き注視していきたいと思っています。

■区道の安全対策を推進

大杉1丁目10付近の区道は、狭く見通しの悪い箇所があり危険とお声が寄せられました。朝夕の通勤ラッシュ時、抜け道に利用され、交通量も多くなる箇所でもありました。土木部に申し入れたところ、この程、注意喚起の看板が2本設置され、地域の方々からは『これで安心です。』とお声が挙がりました。



■交差点の安全対策(中央3丁目公園前)

中央3-9付近の交差点で車の飛び出しが危険、とお声を頂きました。現地は、区道の拡幅工事中であり、完成後の調整も必要でした。そこで当面の対策として、土木部から2本の注意看板が設置され、地域の方から喜ばれました。

